

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 大蔵 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和6年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。（熱中症等の予防の観点から、20mシャトルランについては、5月中旬から6月上旬に実施しています。）

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

〔8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

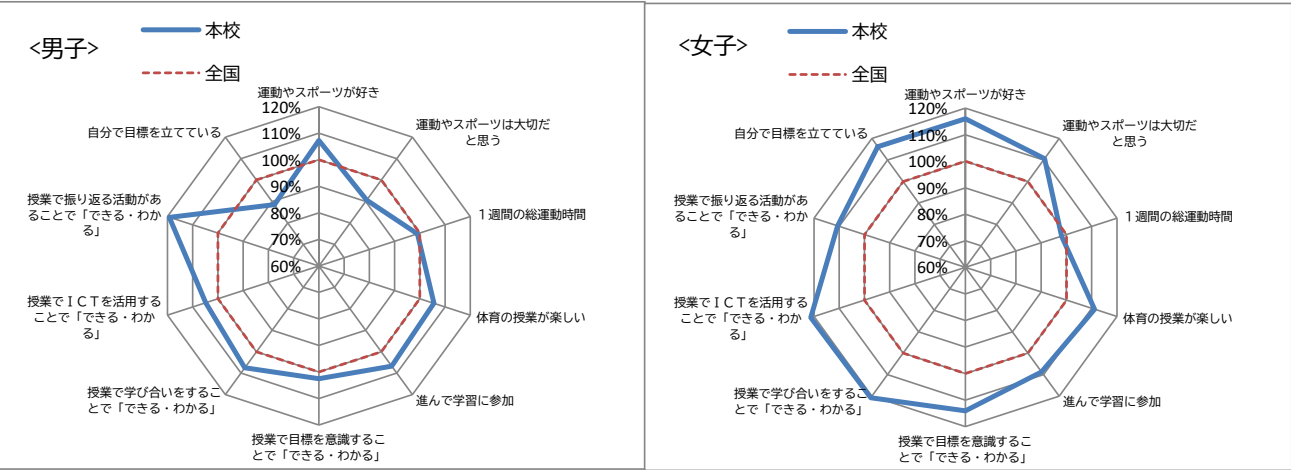
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
本市	15.98	19.39	34.42	40.27	49.36	9.54	150.13	21.81	53.10
本校全国平均以上の種目	○		○	○		○		○	

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92
本市	15.88	18.39	38.51	38.13	38.67	9.79	142.58	13.44	54.32
本校全国平均以上の種目	○		○	○		○	○	○	○

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

「体育の授業は楽しい」の項目については全児童が肯定的な回答を行い、「友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、できたり、わかったりする」の項目については、肯定的な回答が全国平均を上回った。教員が授業改善を行うことで、児童が体育科の学習において友達と体を楽しく動かしながら学びを深めることができていく。一方で、「1週間の総運動時間」の項目について、男女共に全国平均を上回る成果が見られたが、0分～300分の範囲に分布する割合は全国平均を下回る結果となり、日常的な運動習慣の形成に課題が見られた。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

各単元の導入で、学習する運動技能と関連して高まる体力要素について説明を行う。児童が年間を通して自身の体力・運動能力の向上について意識し、自分なりの目標を立てることができるようになる。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

今年度、運動の習慣化のきっかけづくりとして、全校規模で毎学期に体力テストの測定項目に関わる運動の機会(体力アップチャレンジ、運動遊びの紹介、マラソンチャレンジ)を設定した。体力テストの結果から本校の課題を分析し、課題の改善をねらった取組を継続していく。また、積極的に学校の取組を学級通信や学校通信で保護者に啓発していく。